



# 堀田賢逸の一般質問

(季刊) 第2号

各戸配布の「議会だより」に一般質問の要旨が報告されていますが、ここでは、なぜ「その件について質問したか」について報告します。

## ◎除雪問題

十一月議会では「除雪問題」で質問しました。

冬になると「雪下ろし」と「間口除雪」がいつも問題になります。私も家の前にブルーで寄せられたがたくて、重い「雪のがたまりを脇によせるのが大変です。高齢者世帯はどうしているだろうか。由の方の雪の降り方はどうだろうか。それを考えたのがこの問題への取り組みの始まりでした。

そのため、(1)今年の降雪量はどうだろうか。(2)町内各地区除雪の現状。(3)町当局の除雪への取り組み体制。(4)他町村はどうしているのか、これらを調べることにしました。

(1)は湯沢工事事務所へ行きデータをもらいました。

(2)は八地域、十世帯ほどを聞いて歩きました。

(3)は役場の建設課でわかります。

(4)は除雪で評判のよい皆瀬村に行ってみました。

その結果、「間口除雪」が一番必要との結論になりました。それを中心に当局の考え方を聞き、「間口除雪」を要望しました。

その結果百五十万の予算がつき、「平鹿町に住んでよかったです」との声が「2月21日付のさきがけ新聞」に載り、私も一ヶ月の調査が報われたと思いました。

この「間口除雪」には後日談があります。それは各地域を調べたところ除雪で一番困っているところは「石ノ塔」だと私は思いました。そこで石ノ塔に流雪溝を作つてほしいと陳情を出すことにしたらどうかと話しましたところ皆さん「そうしてもらえばありがたい」と言う事で、三月議会に陳情を出して採択となりました。

しかし議会では採択となつても工事を行うのは行政ですから、財源との関係で工事に着手するのはまた別問題あります。ただ議会で採択にならないものはいつまでもそのままです。ここらが難しいところですが実現にむけてがんばります。

## ◎国道13号線問題

三月議会では国道十三号線の問題を提起しました。平鹿町は東西に長く、南北に狭い地形であります。東西には国道107号線が、南北には国道十三号線が走っています。国道十三号線沿いには「石成」、「大橋」、「金屋」の三地区があり三百三十世帯ほどが暮らしております。昔は駅も近くバスの便も良く、学校、役場もあって醍醐村の中心であります。今は車社会になつたため国道の渋滞が日常化し、国道沿線の暮らしは不便になつてきています。

これを解決するためにはどうすればいいのか。これが質問理由であります。そこで現在の国道の実態を調査しました。

①一般交通量調査では平日、十二時間で約一万五千台の車が通り、横手よりは若干少ないが、湯沢よりは多い事がわかりました。歩行者は断然多い状態でした。

国では国民の価値観の多様化、環境意識の高まりから、質の高い社会資本の整備をするため「対話型道作り」をすすめている。

②秋田県では大橋の交差点を県内の主要渋滞ポイント三十三箇所のひとつと認め改良する考えを持つている。

③町では石成地区に水道を設置したい考えを持っています。

調査の結果こういう実態が明らかになりましたので私は「国」、「県」、「町」、「地域住民」の四者が集まるプロジェクトを町が提案するよう質問の中で求めたところです。

この問題は一朝一夕で解決するようなことでもありませんので時間をかけて取り組む必要があります。

三月二十七日の「さきがけ新聞」に大曲市の金谷橋(大曲農業高校の近く)の架け替え案が載っていました。この案が決定されるまでの過程は私が考えていましたように「国」、「県」、「町」、「地域住民」が集まるプロジェクトでした。

我が国道十三号線でも混雑解消にむけてどうすればよいか関係者が集まっています。

この問題は一朝一夕で解決するようなことでもありませんので時間をかけて取り組む必要があります。

仙北建設事務所ではまとめるのに大変だったようですが事業着手にむけたハーフドルは無くなり計画を進めやすくなつたようです。

我が国道十三号線でも混雑解消にむけてどうすればよいか関係者が集まり話し合う機会を作る時期にきてると思っています。

三月議会ではもうひとつ「住民基本台帳ネットワーク」の問題を提起しました。コンピューター時代ですので個人情報がいつでも、だれでもコンピューターに入力されれば簡単に調べることが可能になります。特定個人の日常生活のすべて、職業、勤務先、通勤経路、収入、借金、買い物の履歴、ビデオの借り出し、病歴、妊娠、結婚歴、出産歴などすでに百項目ほどが考えられているそうです。これではたまりません。

コンピューターの良い所はあるわけですが「便利」がすぎて、1から10まですべてが管理される「恐怖」の方が大きいです。全国規模のネットワークの必要はありません。危険が大きすぎます。

皆さんはどう思われますか?

## ◎住民基本台帳

三月議会ではもうひとつ「住民基本台帳ネットワーク」の問題を提起しました。

1号のコラム「風鈴」で、「風鈴は風を感じて音を出す」とありました。この会報を手にされた皆様には、意図するところをお読み取りいただき、是非一声お聞かせいただければ幸いで

# 風が吹く前の「音」

後援会長 藤原 正

昨年十一月に発行した後援会報「風」1号は、読まれた方々に好評であったとの

話を開き、大変うれしく思っております。

何が好評であったのか、ひとり一人伺つたわけではありませんが、おそらく、この会報を「地元の声を町政に届けるための情報のメール、地域の問題提起が自由に交換される場」にしようとした編集姿勢が受け

入れられたのではなくうかと思つておられます。年4回の発行計画が遅れ、ようやく第2号発行にこぎつけることができましたが、1号に劣らないものをと考えると、なかなか筆が進まなかつたことは否めません。

堀田議員は、町政に参画するようになつて八ヶ月になりました。議員としての活躍には石成地区に水道を設置したい考えを持っています。

調査の結果こういう実態が明らかになりましたので私は「国」、「県」、「町」、「地域住民」の四者が集まるプロジェクトを町が提案するよう質問の中で求めたところです。

この問題は一朝一夕で解決するようなことでもありませんので時間をかけて取り組む必要があります。

## 編集後記

季節が、例年より10日ほど

進んでいます。桜が終わって

んごの花がいま満開です。

早まる季節に急かされて、後

援会報「風」第2号をようやく

お届けすることができました。

おおむね好評であつたことで、

おみの苦しみが少しは報われた

やく第2号発行にこぎつけることができ

ました。が、1号に劣らないものを考

えると、なかなか筆が進まなかつたことは否め

ません。

会報を「地元の声を町政に届けるための

情報のメール、地域の問題提起が自由に交換

される場」にしようとした編集姿勢が受け

入れられたのではなくうかと思つてお

られます。年4回の発行計画が遅れ、よう

やく第2号発行にこぎつけることができ

ました。が、1号に劣らないものを考

えると、なかなか筆が進まなかつたことは否め

ません。

おおむね好評であつたことで、

おみの苦しみが少しは報われた

やく第